

## 将来の成長に向けた戦略的な経営陣の刷新と人員体制の強化： 新世代リーダーを迎えて

チャータードグループの一員であるPWM日本証券株式会社（以下「当社」と言います。）はこの度、戦略的な役員人事および社員人事を実施する運びとなりましたので、お知らせいたします。

当社は、新たな視点を取り入れ、イノベーションを推進するための大胆な取り組みとして、取締役会の全面的な刷新を発表いたします。この戦略的決定は、金融業界における複雑な変化を乗り切るために、斬新なアイデアとデジタル・ファーストのアプローチをもたらす若い世代のリーダーに力を与えることを目的としています。

当社は、急速に変化するこの業界において、一步先を行くために、柔軟性と変化への対応力が成長の鍵であると考えています。この変化を受け入れることで、当社は新たなテクノロジーやトレンドの可能性を活用する態勢を整え、当社のビジネスとステークホルダーのために強固でダイナミックな未来を確保することができると考えています。

また従業員についても、新たな視点と革新的なアイデアを生み出す優秀な人材を確保し、急速に変化する金融市場に適する人事戦略に取り組んでおります。今後も意欲的に能力を発揮する人材登用を積極的に進めてまいります。当社は、全従業員がこの会社で成長していきたいと期待が持てる会社にしていきたいと考えています。

### PWM日本証券株式会社の新しい経営陣をご紹介します

#### 1. 丸橋 昌平

代表取締役社長

LinkedIn Page: [丸橋\\_昌平](#)

丸橋 昌平氏は、20年以上にわたるウェルス・マネジメントの経験を生かし、お客様の多様なニーズや目的に合わせた包括的な金融ソリューションを提供することに尽力してきました。1999年4月に野村證券株式会社に入社し、セールス・マネージャーとしての経験を通じて、この分野における貴重な専門知識を蓄積してきました。

2019年6月、当社に営業推進部長として入社以来、様々な規模のチームの指揮を執り、経営基盤の安定に寄与してまいりました。その卓越したリーダーシップは、営業チームのモチベーションを高め、効果的な営業戦略と顧客エンゲージメントを通じてお客様との末長い関係を構築する能力を裏付けています。

2022年2月に執行役員を経て、この度、2024年4月1日付で代表取締役役に就任しました。

## 2. 高橋 信博

取締役 法務・コンプライアンス部長

*LinkedIn Page:* [高橋\\_信博](#)

高橋 信博氏は1991年4月に東洋証券株式会社に入社し、法務・コンプライアンス部門と人事・総務部門を歴任しました。コンプライアンス、検査、紛争対応などの部門横断的な業務支援に尽力し、マネーロンダリング防止対策、法務対応などを担当しました。

コンプライアンス、法務、国際業務、お客様対応、法的手続き、コンプライアンス管理、事務管理、人事に精通しています。

2021年2月、当社に法務・コンプライアンス部長として入社し、2023年4月に執行役員法務・コンプライアンス部長を経て、2024年4月1日付で取締役役に就任しました。

## 3. 鎌田 修一

取締役 商品統括部長

*LinkedIn Page:* [鎌田\\_修一](#)

鎌田 修一氏は、1999年4月に中央信託銀行（現三井住友信託銀行）に入行し、金融業界でのキャリアをスタート。10年以上にわたり市場部門および年金運用部門にて、内外債券でのディーリング業務及び自己売買取引、年金基金向け日本株ファンドの運用を担当しました。また、同行ではリスク管理部門にて、統合リスク管理及び銀行ALM業務に従事しました。

2016年4月、日興グローバルラップ株式会社にシニアファンドアナリスト兼ポートフォリオマネージャーとして、外国籍ファンドを中心としたポートフォリオ管理や運用会社のデューデリジェンスを実施。また、グローバル・エクイティ・ファンドやヘッジファンドをリサーチし、お客様へパフォーマンスを報告する業務に従事しました。

2022年9月、当社に商品統括部副部長として入社し、2023年4月に商品統括部長を経て、2024年4月1日付で取締役就任しました。

PWM日本証券株式会社 代表取締役会長のエヤル・アグモニは、次のとおり祝辞を述べています。

「丸橋昌平氏、高橋信博氏、鎌田修一氏のリーダーシップチームへの就任を心からお祝い申し上げます。彼らの確かな実績と多様な専門知識は、我々が成長と革新の新たな一歩を踏み出す上で大いに役立つことでしょう。また、取締役会の皆様の今後のご活躍を期待いたします。この戦略的な組織の再編成は、責任あるコーポレート・ガバナンス、リスク管理、長期的な価値創造に対する当社のコミットメントを強調するものであり、それらによって当社の組織に対するステークホルダーの信頼と信用を高めるものです。」

さらに詳しい情報は、以下のウェブサイトをご覧ください。

<https://www.pwm.co.jp/>

